

# クリスティーンは、誰にも殺せない。

邪悪で—だが、セクシーで美しい。  
ある自動車工場で生まれた彼女、クリスティーン。  
'58年型プリマス・フューリー・カー。地獄に登録されている。  
彼女は、少年アーニーをとりこにした。  
前の持主は、すでにこの世に亡く、  
彼女の恐ろしさを少年はまだ、知らない。  
そしていま、彼女の前に邪魔者がひとり—  
アーニーの恋人、リー。

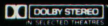
憎い女。

ジョン・カーペンター監督作品

# クリスティーン

リチャード・コブリッツ・プロダクション

コロムビア映画提供 ポーラー・フィルム ジョン・カーペンター “CHRISTINE” リチャード・コブリッツ・プロダクション  
主演 キース・ゴードン ジョン・ストックウェル アレクサンドラ・ポール ロバート・プロスキー ハリー・ティーン・スタントン  
撮影 ドナルド・M・モーガン ASC.アソシエイト・プロデューサー バリー・ベルナルディ 共同製作 ラリー・フランコ 製作総指揮 カービー・マッコレー  
& マーク・ターロブ 原作 スティーブン・キング(新潮社刊) 脚本 ビル・フィリップス 製作 リチャード・コブリッツ  
監督 ジョン・カーペンター オリジナル・サウンドトラック ビクター・レコード



© 1983 Columbia Pictures Industries, Inc.

# クリスティーン

〈カラー作品〉コロムビア映画超話題作

## “SHOW ME, CHRISTINE”

●「遊星からの物体X」の若き鬼才、ジョン・カーペンターが、「キャリー」「シャイニング」「クジョー」の原作者スティーブン・キングの最新ベストセラーを得て——  
遂に完成させた、戦慄のSFサイコ・スリラー！



### ●幻の名車—CHRISTINE,お前はまるで“魔性の女”！

肉感的なボディライン、眩いばかりに光り輝く肢体、洗練されたセンス、だが、その性格は邪悪そのもの。

嫉妬、憎悪、怒り、怨念……あたかも“魔性の女”のように、激しく狂おしい感情を抱いた幻の名車、'58年型プリマス・フューリー。その名こそ、クリスティーン。人々は、彼女と呼んだ。



### ●恐るべき〈自己再生能力〉—CHRISTINEは、誰にも殺せない！

'60年代に大ヒットしたオールディズ・ロックンロールが、カーラジオから流れ出す。とその時、彼女は嫉妬と復讐のターゲットめがけ抹殺を開始する。静かに、そして確実に……。

だが、彼女を誰も殺すことはできない。彼女は恐るべき〈自己再生能力〉を持つ。ズタズタに切り裂かれてもなお、凄まじい戦慄とともに、彼女は必ずよみがえるのだ。

凶暴な学生達に乱打され、変形したボディは内側から目に見えぬ力ではねかえされ、瞬時にして元の美しいボディに戻る。このSFXを、カーペンター監督はほとんどワンカットで描写するが、撮影方法は未だ公表されていない。

### ●CHRISTINEと少年の、極限の愛憎！

彼女は完成された〈美貌〉と〈自尊心〉を傷つけられることを、極端なまでに忌み嫌う。だが、その彼女の魅力に、内向的なカーキチ少年アーニーは、すっかり取り憑かれた。

家庭の不和に悩み、学校でもオチコボレのアーニーは、彼女と出会ってからその性格はニヒルに、風貌もたくましく、姿をがらりと変える。しかし、彼女を溺愛しながらも、アーニーは一方で美少女リーとの愛に揺れ動く。クリスティーンは、そんなアーニーの心変わりを決して許さない。

クリスティーンとアーニーの愛憎が激しくぶつかり、せめぎあい——やがて、ドラマは想像を絶する、恐るべき破局を招くことになる！



近日戦慄のロードショー！

特別鑑賞券・絶賛発売中！

一般 ¥1,200 (当日 ¥1,500 の処)

学生 ¥1,100 (当日 ¥1,300 の処)

伊勢丹斜め向い・三越ならび

新宿京王2 (356) 3518

連日 11:50 2:10 4:30 6:50

